



学校教育目標

自立し、共に生き、平和を求める子

『かしこく』『やさしく』『たくましく』

「特別の教科 道徳」の実施に向けて

主幹教諭 長澤 誠

平成30年度より「特別の教科 道徳」がスタートしました。教科として位置付けられた道徳がこれまでの道徳とどう違うのでしょうか。文部科学省の具体的なポイントを簡単に説明すると、①教科書を導入 ②いじめ問題への対応の充実 ③問題解決、体験的な学習などを取り入れる ④記述式の評価 です。国語や算数のように教科書は使うけれども、数値などによる評価はなじまないという考え「数値評価ではなく、児童生徒の道徳性に係る成長の様子を認め、励ます評価（記述式）」（文部科学省 HP より <https://doutoku.mext.go.jp/>）から、特別の教科となっています。通知表にも道徳に関する記述ができました。

詳細は、上記文科省HPを参照していただくとして、先日の学校公開での「道徳授業地区公開講座」へのご参観ありがとうございました。こちらは平成10年から行われています。今回は講師として藤井輝明先生をお招きし、特別授業と講演をしていただきました。

藤井先生は小学生時代、顔にあるアザのことをクラスのみんなにからかわれるといういじめにあい、大変

つらい思いをしてきました。

今回の道徳の教科化もいじめ問題が大きな理由の1つとなっています。いじめの増加や自殺など問題は多々あります。しかし、いじめは子どもの世界だけなのでしょうか。大人の世界はどうでしょうか。いじめはないのでしょうか。子どもの世界にいじめをなくすことに力を注いでいる大人たちが子どもに「いじめはいけない」ことだと堂々と教えられるのでしょうか。私自身もそうですが、道徳の授業を通して、いじめのない世の中を子どもたちと一緒に考えていきたいと思います。

藤井先生の著書には、こんな一文があります。

「差別、偏見、いじめというのは、社会から完全になくなることはないかもしれない。でもそれは無知による誤解が引き起こした悲劇だと思う。ぼくは人間の可能性を信じたい。正しい知識と、悲しみの中で暮らしている人を思いやる理性があれば、それはなくしていくことができる。」藤井輝明 「さわってごらん、ぼくの顔」(学校図書 『かがやけみらい 小学校道徳 6年読みもの』)

私も人間の可能性を信じたいと思います。

2月行事予定

生活指導目標

健康に気をつけて生活しよう

☆1/21～2/1 体力づくり(縄跳び)
 1日(金)安全指導 社会科見学(5年)
 4日(月)全校朝会 委員会活動
 5日(火)4年書道キャラバン隊による書道教室
 6日(水)～8日(金)
 湯沢宿泊学習(わかば)
 7日(木)音楽集会
 9日(土)土曜公開日 避難訓練
 12日(火)全校朝会
 13日(水)区研究会のため、特別時程4時間授業
 14日(木)新1年保護者会

15日(金)ふれあい班活動(中休み)
 ※16日(土)第七中学校オープンキャンパス
 18日(月)全校朝会 クラブ活動(最終)
 19日(火)お別れスポーツ大会(5・6年)
 20日(水)研究会のため特別時程5時間授業
 PTA運営委員会・PTA後期総会
 21日(木)体育集会(大なわ)保幼小連携(1年)
 25日(月)全校朝会 委員会活動(3月分)
 26日(火)つつちょミニコンサート
 28日(木)音楽集会